

## 愛知県名古屋市長 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2022年～2024年

## (1) 2030年のあるべき姿の実現に向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年	2023年	2024年	2030年（目標値）	達成度（%）
1	昼間就業者一人当たり市内総生産 【8.1、8.2、8.3、8.5】	2018年度 9,174 千円	2020年度 9,040 千円			2028年度 11,000 千円	-7%
2	イノベーション創出件数 【4.4、8.1、8.2、8.3、9.5】	2018～ 2020年度 までの累計 608 件	2022年度 までの累計 （4か年） 1,166 件			2030年度 までの累計 （12か 年） 2,380 件	31%
3	主要駅の乗客数 【8.9、9.1、11.2、11.3】	2019年度 107 万人/日	2021年度 78 万人/日			2029年度 115 万人/日	-363%
4	観光総消費額 【8.9、11.2】	2020年 2,089 億円	2022年 3,746 億円			2030年 10,000 億円	21%
5	温室効果ガス排出量 【7.2、7.3、13.3】	2018年度 1,391 万t-CO <sub>2</sub>	2020年度 1,256 万t-CO <sub>2</sub>			2030年度 1,172 万t-CO <sub>2</sub>	62%
6	ごみの処理量 【12.3、12.5、12.8】	2020年度 58.8 万t	2022 57.4 万t			2030年度 56.0 万t	50%

## (2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況（2022年～2024年）

No	取組名	指標名	当初値	2022年 実績	2023年 実績	2024年 実績	2024年 目標値	達成度（%）
1	イノベーション拠点の運営	拠点におけるイノベーション創出件数	2020年度 46 件	2022年度までの累計 30 件			2024年度までの累計（3か年） 120 件	25%
2	産業立地促進助成	企業誘致件数	2020年度 8 件	2022年度 9 件			2024年度までの累計（3か年） 45 件	20%
3	女性の活躍推進	女性の活躍推進企業認定・認証数	2020年度 155 社	2022年度 225 件			2024年度までの累計 200 社	113%
4	イノベーター創出促進	共創イベント等参加者数	2020年度 222 人	2022年度 218 人			2024年度までの累計（3か年） 300 人	73%
5	MICE の推進による多様な交流の促進	国際会議の年間開催件数	2019年 252 件	2021年度 0 件			2024年 278 件	-969%
6	ワーク・ライフ・バランスの推進	ワーク・ライフ・バランス推進企業数	2020年度 188 社	2022年度 261 社			2024年度 240 社	140%
7	最先端モビリティ都市の実現に向けた取組	公共交通が便利で利用しやすいと思う市民の割合	2020年度 82.9 %	2022年度 84.9 %			2024年度 85 %	95%
8	リニア中央新幹線開業に向けた名古屋駅周辺のまちづくり	公示地価（名古屋駅周辺平均）	2020年1月 4,620 千円/㎡	2022年1月 4,651 円/㎡			2024年 4,900 千円/㎡	11%
9	栄地区まちづくりプロジェクトの推進	久屋大通の再生の進捗度	2020年度 久屋大通南エリアの再整備プラン(案)検討	2022年度 再整備プラン作成、事業化準備			2024年度 久屋大通南エリアの事業化準備	-
10	第20回アジア競技大会の推進	第20回アジア競技大会の認知度	2020年度 22.7 %	2022年度 34.9 %			2024年度 67 %	28%
11	中部国際空港の利用促進及び機能強化の推進	中部国際空港の国際線旅客便就航都市数	2020年度 4 都市	2022年度 12 都市			2024年度 40 都市	22%
12	環境にやさしいエネルギー利用の推進	太陽光発電設備の導入容量	2020年度 250,700 kW	2022年度 283,620			2024年度 300,140 kW	67%

## 愛知県名古屋 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2022年～2024年

No	取組名	指標名	当初値	2022年実績	2023年実績	2024年実績	2024年目標値	達成度(%)
13	低炭素なライフスタイル・ビジネススタイルの推進	環境行動促進アプリのダウンロード数	2020年度までの累計 3,741 件	2022年度までの累計 5,618 件			2023年度までの累計 20,000 件	12%
14	緑に親しめる環境づくり	新たに確保された緑の面積	2020年度 52 ha	2022年度 83 ha			2024年度(3か年) 120 ha	69%
15	生物多様性の保全と持続可能な利用の推進	暮らしの中で生物多様性に配慮した行動をしている市民の割合	2020年度 55.3 %	2022年度 51.3 %			2024年度 57 %	-235%
16	健全な水循環の確保	水循環について知っている市民の割合	2020年度 45.0 %	2022年度 34.9 %			2024年度 50 %	-202%
17	3Rの推進	ごみの処理量	2020年度 58.8 万トン	2022年度 57.4 万トン			2024年度 58 万トン	175%

## (3) SDGs未来都市計画推進のKPI達成に係る評価及び課題等

2030年のあるべき姿の実現をめざし、経済分野においては新たな価値を創出するためのイノベーションの創出支援や働きやすい企業の創出支援、社会分野においてはリア中央新幹線開業を見据えたまちづくりや都市ブランド力の向上、環境分野においては省エネルギーの推進・再生可能エネルギーの導入拡大やごみ・資源の発生抑制などをはじめとした施策に取り組んできたところであり、一定の成果が得られているものと認識している。

(1)指標No.5「温室効果ガス排出量」やNo.6「ごみの処理量」、(2)指標No.6「ワーク・ライフ・バランス推進企業数」など、2022年時点の現状値が2024年目標値を上回っているものもある一方で、(1)指標No.1「昼間就業者一人当たり市内総生産」やNo.3「主要駅の乗客数」、(2)指標No.5「国際会議の年間開催件数」、No.11「中部国際空港の国際線旅客便就航都市数」については、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大に伴う社会経済活動の停滞や外出自粛などが影響し、進捗が遅れがみられた。また、(2)指標No.15「暮らしの中で生物多様性に配慮した行動をしている市民の割合」及びNo.16「水循環について知っている市民の割合」についても、新型コロナウイルス感染症の拡大によるイベントをはじめとした普及啓発機会の減少が、進捗の遅れに影響したものと考えられる。なお、(1)指標No.4「観光総消費額」についてはコロナ前水準には満たないものの、回復基調となっている。

今後はwith/afterコロナを見据えつつ、社会の動向等を踏まえた取り組みの推進により、引き続き着実な達成に努めていく。